

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		マンション修繕支援					所管	都市づくり部 住宅課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	197	計画事業名	老朽マンション等の再生の促進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 43 多様なニーズに対応した良好な住環境の整備					[事業開始] 平成16年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区マンション計画修繕調査費助成制度実施要綱 台東区マンション共用部分バリアフリー化支援助成制度実施要綱						
	事業対象	直接の対象 : 区内の分譲マンションの管理組合又は賃貸マンション(社宅・寮・公的住宅を除く。)を所有する個人 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	マンションの計画的な修繕や長期修繕計画の作成を促進し、区民の豊かな住生活を支える安全で良質なマンションストックを形成する。また、高齢者や障がい者をはじめとするマンションに居住する住民の安全、円滑な移動を確保し、暮らしやすい良質な住環境の整備を促進する。								
	事業内容 [H30年度]	①マンションの共用部分におけるバリアフリー化工事を行う際に工事費の一部を助成する。 ②マンションの大規模修繕の実施や長期修繕計画を作成するために、共用部分の建物(電気配線等を含む)及び設備(給排水)の調査を実施する際、調査費の一部を助成する。								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	助成件数(計画修繕調査費)	件	20	15	21	11	20	55.0%	
		助成件数(共用部分バリアフリー)	件	10	8	3	2	10	20.0%	
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				(2,675)	(3,352)	(4,408)		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				(0)	(0)	(0)		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				(2,110)	(829)	(200)		
		総経費				(4,785)	(4,181)	(4,608)		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				(0)	(0)	(0)			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				(159)	(10)	(66)			
	一般財源(区負担額)				(4,626)	(4,171)	(4,542)			
課題及び今後の進め方	本事業の実施については、管理組合の総会や臨時総会によって決議されていることを要件としており、合意形成の難しさや管理に関心のない管理組合には理解されにくい。セミナー等を利用した周知や住宅関連団体への周知により管理意識を啓発していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	マンション居住者の高齢化が進行する中、区が助成をすることで、建築後相当の年数を経たマンションにおいてバリアフリー化や計画的な修繕工事を推進できるため、必要性は高い。							
	効率性	3	工事着手前の申請と現地調査及び東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルに基づく整備、施工状況を現場で確認し、効率的に事業を実施している。							
	手段の適切性	3	本事業により、マンションの計画的な改修工事や長期修繕計画の作成がうながされ、暮らしやすい良質な住環境の整備が促進されるので、手段は適切である。							
目的達成度	2	この制度を利用するには、管理組合の総会で決議することを要件としており、合意形成の難しさや費用の捻出など、多くの時間と労力を要する。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
多額の費用が発生する大規模修繕工事を行う際には、費用の捻出を含め、単年度、短期間で合意形成を得るのに困難が伴うが、調査費を助成することで工事の必要性が明確になり、適正な管理の促進を図ることができる。また、バリアフリー化工事に要する費用の一部を助成することで、マンションで暮らす多様な人々が便利でより快適な生活を営むことが可能となるため、引き続きセミナー等を利用した周知や住宅関連団体への周知により、実績を向上させる。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		